

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|               |                                   |       |             |
|---------------|-----------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号         | 3170201077                        |       |             |
| 法人名           | 社会福祉法人 養和会                        |       |             |
| 事業所名          | グループホーム 仁風荘 二番館                   |       |             |
| 所在地<br>(電話番号) | 米子市上後藤8-5-15<br>(電話) 0859-48-1777 |       |             |
| 評価機関名         | 有限会社 保健情報サービス                     |       |             |
| 所在地           | 鳥取県米子市西福原2-1-1                    |       |             |
| 訪問調査日         | 平成20年10月24日                       | 評価確定日 | 平成20年11月25日 |

## 【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |               |                             |      |
|-------|---------------|-----------------------------|------|
| 開設年月日 | 平成 16年 3月 22日 |                             |      |
| ユニット数 | 2 ユニット        | 利用定員数計                      | 18 人 |
| 職員数   | 16 人          | 常勤 16 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 16 人 |      |

### (2) 建物概要

|      |      |           |
|------|------|-----------|
| 建物形態 | 単独   | 新築        |
| 建物構造 | 木造造り |           |
|      | 2階建て | 1階 ~ 2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |          |                |          |
|---------------------|----------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 36,000 円 | その他の経費(月額)     | 21,000 円 |
| 敷金                  | 無        |                |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 無        | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無      |
| 食材料費                | 朝食       | 円              | 昼食 円     |
|                     | 夕食       | 円              | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり |                | 1050 円   |

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

|       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性 1 名  | 女性 17 名 |
| 要介護1  | 9 名     | 要介護2    | 6 名     |
| 要介護3  | 2 名     | 要介護4    | 1 名     |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2    | 0 名     |
| 年齢    | 平均 85 歳 | 最低 77 歳 | 最高 95 歳 |

### (5) 協力医療機関

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム仁風荘二番館は米川の遊歩道沿いにたたずむ明るく、開放的な外観を持つ施設である。近隣にはグループホーム仁風荘一番館、同法人の養和病院があり、様々な方面で連携のとれた支援が利用者や家族の安心、満足につながっている。施設長は認知症介護のリーダーとして広く貢献しており、ホームにおいても利用者の自立支援を目指して独自の取り組みがなされている。職員は研鑽を積みながらも特性を活かし、生き生きと働いている。特筆すべきは利用者や家族の満足度の高さである。職員と共に支えあい、利用者は日々文字通り思いおもいの暮らし方をしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|           |   |
|-----------|---|
| 重点項目<br>① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|           | 職員全員による取り組みが課題となっていた外部評価であるが、この度は全員が意義を理解し、項目について検討が行われていた。運営推進委員会の効果的な活用については、引き続き目標として掲げられた他、行政職員の積極的な関わりが求められる。現在、講演事業等依頼を受けることが主である市町村との関係については、今後行政から協力を得られるような働きかけが期待される。 |
| 重点項目<br>② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|           | 評価の意義については職員に周知、理解されている。管理者とリーダーが項目毎に自己評価を行い、他の職員に内容を公表し、意見等の確認を行っている。  |
| 重点項目<br>③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  |
|           | 概ね2ヶ月に1度開催されている。グループホーム一番館二番館、近くの介護老人保健施設、地域代表家族が参加して開かれている。利用者状況、サービス状況、行事等の報告が主な議題となっている。本会が定めるところのサービスの質の向上を目指して、要望、助言が得られ意義ある機会となることが求められる。                                 |
| 重点項目<br>④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)   |
|           | 意見箱によせられた家族の意見、顧客満足度アンケートの結果は、法人本部の品質委員会において検討され、運営に反映、掲示されている。家族との交流の中で、受け取った家族の思い・不安は、解決・対応に向けてホームで話し合われている。  |
| 重点項目<br>⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|           | 自治会に加入しており、公民館祭りを始めとする地域の行事に利用者とともに参加している。保育園、小学校とも交流がある。認知症理解についての講演を地区において年間20回程度行っている。地域交流サロンを立上げ、地域との掛け橋となっている。   |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|-----------------------|----|---|---|------|--|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | グループホーム独自の理念を作り上げている。地域密着型サービスとしての役割、意義を確認したうえで、あえて「地域」という言葉を使わないことを選択している。 | ○    | 「地域」とは？何を持って地域というのか。地域で支える必要性や地域に開かれる事を理解した上で、言葉では表現できない、「地域」について考えていく必要がある。 |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 日々のケアの中で、理念に立ち返り、管理者・職員が目指すホームに向けて実践している。                                   |      | 理念の共有・実践を今後も永遠のゴールとして大切にし取り組みを続けてゆきたいとのことである。                                |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 近隣小学校・保育園との交流、校区の公民館における認知症講座、自治会行事への参加、地域交流サロンの開催など積極的な関係作りが行われている。        |      |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 施設長、管理者とリーダー職員3名により自己評価が行われている。他の職員に対しても周知が行われており、職員による評価内容の点検がなされている。      |      |  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 概ね2ヶ月に1回の割合で運営推進会議が開催されている。利用者状況、サービス状況、外部評価、行事についての報告は行われている。              | ○    | サービス向上に活かされるような自由な意見交換が継続して行われることが望まれる。行政担当者の積極的参加が望まれる。                     |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                      |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 米子市保健所認知症対策実務者会、米子市長寿社会課認知症対策会議、鳥取県西部地区認知症介護支援アドバイザー、鳥取県認知症介護研修スタッフ等市町村からの委託により、施設長が先導者として広く活動している。 | ○    | 当ホームの抱くビジョンへに対する理解と、サービス向上のため支援・協力等が得られるよう市町村との関係作りに向けて取組みが引き続き期待される。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている                              | 毎月、利用者の様子を知らせる担当者からの報告やホーム便り、法人の便り、金銭報告等の郵送の他、ケースに応じてきめ細やかな報告が行われている。職員の異動や行事のお誘いなどもその都度家族に送っている。   |      |   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 法人の品質委員会において顧客満足度アンケート調査が実施されている。意見箱によせられた意見も法人本部によって分析されている。意見、不満、苦情に対する回答は必要に応じて掲示にて報告がなされている。    |      | 「家族と職員の会」の発足予定があり、家族の思いの表出できる良い機会となることが期待されている。                       |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 極力異動が行われないように配慮されている。利用者や職員の馴染みの関係を大切にしており、現在、異動、離職はほとんどない。   |      |   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |   |      |   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 全国、県、法人などで行なう研修会への計画的な参加の他に、職員は各自「目標管理シート」を作成し目標設定して取り組み、施設長が達成度の評価を行なっている。                         |      |   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | グループホーム協会での相互研修や事例検討、認知症介護研修センターとのネットワーク、認知症指導者ネットワークとの交流が図られている。                                   |      |   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |   |  |      |                                   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |   |  |      |                                   |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 徐々にホームの雰囲気に慣れ親しめるよう一時間程度の訪問からスタートし、利用前にホームで利用者と一緒に過ごしてもらい、職員とも顔なじみの関係になるなど、必ず利用者本人にとって無理の生じないような関係作りが行われている。 |      |                                   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |   |  |      |                                   |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 職員は日常生活を一緒に送る中で、食事、清掃、洗濯、散歩、畑仕事など、利用者と共に学ぼうと学び、支えあう関係を築いている。   |      |                                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |      |                                   |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |   |  |      |                                   |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 職員は利用者の一瞬一瞬を大切に、その思いや意向を把握しようとしている。当ホーム独自の「かもしれないチェックシート」を実施、利用者の思い、意向の把握に努めている。                             |      |                                   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |   |  |      |                                   |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している         | 介護計画は、本人及び家族の意見・希望を反映したものとなるよう、またアセスメント・評価に対し関係者で話し合っ作成されている。  |      |                                   |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している     | 3ヶ月に一度、定期的な見直しが行われている。利用者の変化に応じた随時の見直しも行われている。   |      |                                   |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--|----|---|---|------|-----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |   |   |      |                                   |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 外出・受診の支援を行っている。自宅で過ごす認知症高齢者及び家族の相談にのっている。                                 |      |                                   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |   |   |      |                                   |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 本人及び家族の希望に合わせたかかりつけ医への受診支援を行っている。必要に応じ職員が同行している。また複数の医療機関の往診を受けている。       |      |                                   |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期の対応について家族等と面談し方針を確認している。ただホームの方針としては利用者の在宅復帰を目標にしている。              |      |                                   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援              |    |   |   |      |                                   |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |   |   |      |                                   |
| (1)一人ひとりの尊重                            |    |   |   |      |                                   |
| 20                                     | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 利用者のプライバシーを尊重し支援をしている。関連事項の研修を必須受講にし徹底を図っている。個人情報に対する管理規程を設けるなどし保護に努めている。 |      |                                   |
| 21                                     | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 職員は利用者のその時その時を大切に支援を行っており、利用者の希望に沿った生活を送っている。                             |      |                                   |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食事は利用者の希望や季節感のある献立を共に考え、買物調理から後片付けまで職員と利用者と一緒にやって行っている。利用者の希望で外食することもある。                |      |                                   |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 利用者の希望やタイミングに合わせた入浴の支援が行なわれており、職員の勤務ローテーションの変更で夕食後の入浴も可能となっている。                         |      |                                   |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                   |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の生活歴や能力、趣味を活かし、買物、食事作り、洗濯、畑仕事等それぞれに合った役割や楽しみ事を支援している。                                |      |                                   |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 日常的な買物、散歩の他に利用者の希望に沿えるような外食、映画館、花展覧会、お茶会、美術館など担当職員と個別の楽しみを計画、実施している。職員も計画の段階から自ら楽しんでいる。 |      | 温泉好きの利用者のためにただいま最適な温泉をリサーチ中である。   |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |                                   |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中施錠はされていない。外出しようとする利用者については表情をキャッチし見守り支援を行ないながら適切に対応している。                              |      |                                   |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年1～2回の避難訓練を実施している。近隣の同法人施設、地元消防団、住民への協力を呼びかけなど連携がとれている。                                 |      |                                   |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 健康管理票で食事や水分の摂取量を管理しており、職員が食事形態の検討などの支援をしている。ユニット毎に利用者の希望を取り入れ、その時々食材を活かした献立作りである。月に1回程度栄養士の指導を受けている。  |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |   |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ダイニングテーブルには季節感のある野の花が飾られていた。壁面には利用者の写真や手作りが飾られ温か味のある雰囲気が感じられる。炊事場の奥には掘り炬燵のスペースがありプライベートな空間になっている。二階のユニットは採光が充分過ぎるほどであるが夏場はダイニングテーブルの位置を工夫し利用者が居心地よく過ごせるようにしている。 |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 利用者好みの写真やグリーンインテリア、思いおもいの装飾品が配置されている。備え付けのベッドの他には持ち込みの小さな家具が置かれており、利用者が居心地よく過ごせるようなしつらえに整えられている。  |      |                                   |